

第9回横手市総合計画審議会 会議録

日 時 令和7年9月24日（水）午後6時30分から午後8時08分

場 所 横手市役所本庁舎 2階 第一会議室

出席者 【委員】※横手市総合計画審議会委員名簿順

佐々木均会長、佐藤信行副会長、柴田優子委員、高橋孝太委員、
藤原晴菜委員、成田朋子委員、平元沙恵子委員、畑しのぶ委員、
松井美和委員、鈴木智子委員

欠席：子野日円美委員、高橋征宏委員、織田夏雄委員、佐々木百合子委員、
中川義徳委員、嵯峨陽子委員、千田慎之介委員、江村紘臣委員

【事務局】

健康福祉部会	部会長	阿部淳子（まると福祉課長）
健康福祉部会	副部会長	佐々木恵（社会福祉課長）
教育文化部会	部会長	木村智子（教育総務課長）
教育文化部会	副部会長	高橋夏子（教育指導課長）
生活環境部会	部会長	高橋道明（生活環境課長）
生活環境部会	副部会長	川津久和（危機対策課長）
産業振興部会	副部会長	松井尊臣（食農推進課長）
建設交通部会	部会長	高橋英樹（建設課長）
市民協働部会	部会長	高橋良明（地域づくり支援課長）
市民協働部会	副部会長	高橋美貴子（横手の未来とものにつくる課長）
行政経営部会	部会長	小松田義博（人事課長）
行政経営部会	副部会長	稲川颯（財政課長）

小玉総務企画部長
大友経営企画課長、酒井課長代理、福田主査、坂元副主査、

概 要

1. 開会

2. 会長あいさつ

皆様こんばんは。審議会も今回で9回目ということで、毎回委員の皆様には大変ご難儀をおかけしております。本当にありがとうございます。昨日が彼岸の中日ということで、朝晩はだいぶ秋めいてまいりましたが、振り返りますと今年の夏は猛暑に加えて雨不足で、特に農家の皆様は大変だったのではないかと思います。また、その後、県内は大変な豪雨に見舞われまして、横手市はそれほどでもなかったと思いますが、やはり自然というのは、我々が願うとおりにはいかないなということを痛感いたしました。ただ、現在は秋晴れが続いており、稲の刈り取りも急ピッチで進んでいるようです。昨年のような米不足にならないように祈っているところであります。

さて、今日の審議会ですが、各部会の部会長さんと副会長さんにお集まりいただいております。事務局とも先ほど話しましたが、かなりボリュームがあり、なかなか時間内に済ませるのは至難の技のようで、皆様の特段のご協力をいただきたいと思います。本日も、どうかよろしく願いいたします。

3. 議事

(1) 横手市総合計画前期基本計画の素案について

資料1をもとに、各施策の主な現状と課題、取組等を正副部会長が説明。

質疑応答

【会長】

教育環境の整備に関し、ICT 環境の整備をさらに進めていくということで、もったもなことだと思いますが、生成 AI の活用については、まだ国や県から統一した見解は示されていないように思いますが、これからの5年間を考えた場合、非常に大きい課題になってくるのではないかと感じておりまして、この辺についてはいかがでしょうか。

【教育指導課長】

生成 AI の活用につきましては、国の方からも実証事業などを通して得られた成

果を十分に検証しながら慎重に学校現場に取り入れていくべきであるというふうなことが数年前に示されておりました。ところが、その実証の結果を待つ以上に、急速に AI が普及してきている状況で、数年前に導入に向けて検討していく課題などというふうにも取り上げられていたよりももっと急速なスピードで、実際には様々な場面で活用されているというところが現状です。

それを受けまして、横手市では ICT 教育推進委員会というのを編成しています。各学校の ICT 教育を担当する職員が一堂に会しまして、生成 AI の活用における成果であったり課題であったりを話し合っただけで検討しながら、どんな方向で取り入れていくのが子どもたちのためになるのかというところを協議しながら、取り入れていく方向で検討しているところでもあります。

【会長】

横手市の文化遺産ということで、有形無形の文化財の活用あるいは保護ということが述べられており、これも非常に大事なことかと思えます。今日のニュースで拝見しましたが、国際教養大学と NHK が協力して調査したところ、100 年以上続いている伝統芸能などが秋田県には 500 ぐらいあるようで、そういうものの保存も非常に大事だと思います。

それと同時に、生き物に関してですが、平成 10 年代だったかと思いますが、横手市生物分布調査というのを行いまして、私もその調査員の末席に加えさせてもらい、いろいろな分野で横手市の財産である生物について調べて、報告書を作ったというような思い出があります。それから、平成 23 年か 24 年だったかと思いますが、民間の調査会社が主体となって文献調査などを行い、同じように横手にはこういう素晴らしい生き物がいますよというような報告書をまとめたはずで、おそらくその結果は、各小中学校に郷土を愛する副読本みたいな形で配布されたのではないかと思います。

予算や人材的にも厳しい中、また生活環境部会にも重なる話だと思いますが、そういう自然関係の財産についても、こういう素晴らしいものが横手にはあるんだよというのを、一般の方々を含めてお知らせするというような取組を考えていただく余裕はありますでしょうか。

【教育総務課長】

担当課に伝えさせていただきます。

【平元委員】

鳥獣被害の防止について、今喫緊で問題になっているのが熊ということで様々な対策をされていることと思いますが、猪や鹿など、これまで見かけなかった動物の被害や目撃情報を身近でよく聞きますので、そっちの方の正しい知識についても周知をできるだけしていた方が、今後の被害が小さくなるのではないかと思います。

九州に友達の農業関係者がおりますが、そちらでは猪による被害が多いようで、その方が言うには熊よりも猪の方が危険とのことでした。大人が立った状態で突進されると太ももの太い血管の位置に牙が当たり、亡くなってしまう方も多いとのことで、今後を見越して情報収集や周知をしていただけたらと思います。

【生活環境課長】

情報収集や周知に取り組んでいく必要があると思います。猪に関しては、箱罾を仕掛けても罾に入らないほど頭が良いと聞いており、そういったことも含めまして主な取組内容に挙げさせていただきたいと思います。

【平元委員】

横手市の公式 SNS で情報発信をされているかと思いますが、規約変更により、画像などの部分で発信が難しくなったりすることなども考えられます。例えば規約の変更などに対して、どのように対応していくなどの方針はありますでしょうか。

【地域づくり支援課長】

元広報担当ということで私からお話しをさせていただきます。各種 SNS の取り扱いには常日頃アンテナを張り巡らせています。市としましても最初は Facebook だけだったんですがさらに情報発信が必要だということで、X (旧 Twitter) や LINE、インスタグラムなども加え、市の情報を広く周知するようにしております。そこら辺は注意して対応しておりますので大丈夫であると考えます。

【会長】

いまのお話に関連して、サイバー攻撃はありますか。

【経営企画課長】

これも所管が別の部署になりますが、サイバー攻撃はあるにはありますがセキュ

リティは守られています。我々が普段使っているものが LGWAN というもので、通常皆さんが使うインターネットとは違い、開放されていない空間で仕事をしています。ですので、例えば住民情報などはインターネットと別の囲われたところで利用しており、全国的に同じようなシステムでやっていますので、そこへの直接的な攻撃というのは今のところないはずです。

4. その他

令和7年度のまちづくりアンケート結果について、事務局から概要を報告。

5. 閉会

以上